

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名		都市公園総括型管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	都市建設部	課長名	衛藤 文明	
	施策	18	住環境の充実				所属課	都市計画課	担当者名	小川 憲嗣	
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全				所属班	都市計画班	(内線)	5264	
予算科目		会計一般	款8	項4	目2	事業連番10139	根拠法令	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則			
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	比較的大型の都市公園（弁天山公園・妙泉寺公園・中央運動公園・竹迫城跡・蛇ノ尾・飯高山・元気の森）について、シルバー人材センターや地域住民等で構成される管理組合などへ、草刈・樹木剪定・消毒・清掃・施設点検等を総括的に委託し、公園の維持管理をすることを主とした事業である。
【業務の流れ】	委託費積算・委託者選定・契約・打合せ・検査・支払い
【主な予算費目】	需用費（光熱水費、修繕費等）、役務費、委託料、工事請負費 など
【意見や要望】	バーベキュー利用可能としていた妙泉寺公園については、以前より利用者マナーの問題（ごみの放置や騒音等）から利用禁止を望む声があがっており、平成30年9月1日より全面禁止措置を行なったことで苦情件数は減ったが、無断利用が未だ見受けられる。 また、どの都市公園においてもペットの糞やゴミの放置が年々増えており、ペットの入園禁止を望む声も出てきている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
市内の大規模都市公園(7箇所)の維持管理に必要な光熱水費ほか、快適な公園環境を維持するため、シルバー人材センターや管理組合などと業務委託により、公園の適正な維持管理とみどりの保全を行った。		シルバー人材センターや管理組合などと管理内容の打合せを行い維持管理委託を行なう。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 維持管理を行った公園	箇所	公園管理業務委託内容の見直し及び管理用備品の入れ替えによる増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等公園利用者		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
		→ ア: 管理対象公園数	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
適正に管理できる・安全快適に利用できる		→ ア: 苦情・要望数(大型の都市公園分)	件
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
対象の公園についての苦情要望件数は管理状況を示すバロメータとしても有意義であると考えたため			全体計画 ～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移										
		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標		箇所 アイ	7	7	7	7	7	7	7	7
② 対象指標		箇所 アイ	7	7	7	7	7	7	7	7
③ 成果指標		件 アイ	46	77	30	18	30	30	30	30
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	1,000	1,000	1,000	1,100	1,000	1,000	1,000
		地方債	千円							
		その他	千円	262	250	429	173	1,863	1,863	1,863
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	22,535	20,784	20,288	19,861	20,062	20,062	20,062	20,062
		(A)のうち指定経費	千円	23,797	22,034	21,717	21,134	22,925	22,925	22,925
		(A)のうち時間外、特勤	千円	38	38	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	27	27
		延べ業務時間	時間	5	6	2	4	2	2	2
(B)人件費計		千円	883	650	350	590	350	350	350	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,493	2,562	1,394	2,338	1,394	1,394	1,394	
		千円	27,290	24,596	23,111	23,472	24,319	24,319	24,319	24,319

事務事業名	都市公園総括型管理事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 委託により適正な管理を行っており目標達成はできると考える
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 限られた予算・人員でおこなっており、向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 比較的大型の都市公園の維持管理に特化した事業であり類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 シルバー人材センターや地域住民等で構成される管理組合などへ委託しており、専門業者等へ委託発注するよりも事業費は格段に抑えられている状況であるため、労務費等の削減の余地はない。 削減を図るには、樹木や施設の撤去廃止が必要であるが利用者の利便性を犠牲にすることとなり、また既存公園全体の廃止は難しいため現状維持に努める。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員と時間で行っている
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公園は誰もが利用可能であり、公平性は保たれている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が管理する施設であり役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

シルバー人材センターや管理組合等に委託し、管理等を適切に行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策